



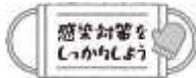
【11月⑤・12月⑥の保健室来室状況】

	内科		外科		合計	
1年	47	23	11	6	58	29
2年	29	27	11	7	40	34
3年	21	21	6	0	27	21
合計	97	71	28	13	125	84

今年も残すところあとわずか。皆さんにとって、どんな一年でしたか？年末に一年を振り返り、新年に新たな目標を立ててみてはどうでしょうか？（一年の計は元旦にあり）

寒さも次第に厳しくなってきました。せつかくの冬休みが「寝こんで台無し」にならないよう、引き続き感染症の対策を続け、体調管理をしていきましょう。

年末の大掃除は、清潔になる、運動になると一石二鳥ですので積極的に取り組んでほしいです！



内科は、風邪症状・胃腸症状が多くなってきました。急な発熱・咽頭痛で感染症と診断された人もいます。外科は、部活動や体育によるケガがほとんどです。12月はインフルエンザがとても多かったです。受験生は、インフルエンザ予防接種をするのも予防の一つです。希望者は早めに接種しておきましょう。



保護者の方へ：12月8日に行われました子宮頸がんの講演会に多数ご参加いただき、ありがとうございました。これを機に、病気の予防や、ワクチン接種の必要性について、ご家庭で話し合ってくださいと願っています。

生徒指導通信

～やってやれないことはない、やらずにできるわけがない～



最近、この通信も月1回の発行となってしまう、子どもたちや学校の様子をなかなかお知らせできなくて、大変申し訳ありません。

さて、今回は私の部活のことで、申し訳ないのですが、サッカー部のキャプテンである太田原大翔君についてまず話をしたいと思います。

現在、吾田中サッカー部には20名の生徒が所属していますが、その内2年生は3名です。その中でも、大翔だけが、小学校から少年団でサッカーを経験してきました。逆に1年生は、17名の大所帯、しかも17名全員がサッカーの経験者なので、彼がスタメンで試合に出ないこともあります。きっと苦しい思いもあるでしょう、悔しい想いも感じていることでしょうか、彼は試合に出ない時も、部員に指示を出します。自分の役割から逃げず、堂々と前を向きます。普段から僕の話や指示をしっかりと聞き、また学校生活の中でもたくさん先生の先生達からいただいた言葉を真摯に受け止め、伸びていこうと努力出来ます。その逞しさに感心します。

また、ある時、“7:40に部室に集合”と連絡をすると、彼は1番最初に来ます。きっと、みんなが来る前に鍵を開けないと、という思いがあるのではないかなと思います。キャプテンとして当たり前のことと言えば、そうかもしれませんが、彼の時間を大事にし、仲間を思いやったりすることの心に再び感心しました。

更に、ある日の部活で、学級の仕事や用事があって部活開始の時間に遅刻してくる子がいました。その日は雨が降っていて、室内でトレーニングをしていました。遅刻してきた子が合流したときには、トレーニングは終わっていて、次のミーティングに移しようとしているタイミングでした。みんなミーティングのことを考えて、その準備に移ろうとしていたのですが、彼は遅刻してきた子のところに行き、付き添ってトレーニングの手伝いを行ってくれていたのです。周りを見ながらその状況に気づけること、人の気持ちを察し、寄り添ってあげることのできる姿に、またまた感激しました。

今まで僕が見てきたキャプテンは、自己主張を強く表現したり、ゲーム中も熱く激しく戦ったりと、皆さんがイメージするサッカー一僧みたいな子が多かったです。

しかし、彼は謙虚で控えめだったり、試合中も冷静に落ち着いてプレーしたりと僕が見てきたサッカー部のキャプテンとはタイプの違う生徒です。

でも、キャプテンとしては過去1、2を争う立派なリーダーです！僕も彼を見ていて見習うことが多く、本当のリーダーシップというのは、こういうことなのではないかと勉強になります。

子どもも大人も、色々な性格の人がいて、色々な個性があって、人それぞれです。でも、どんな人にも、やれないことはなく、みんなが大きな可能性を持っているのだと感じます。

さあ、令和6年になります。3年生は高校生へと、1、2年生はまた一つ学年が上がる準備をする大事な3学期です。最後の“本気”を見せましょう。自分の可能性を大事に、目の前にあるチャンスをしっかりとつかんで、成長して行ってほしいと思います。

12月には“計算力コンテスト”なるものがありました。南那珂の中学1年生～3年生まで全員が行う数学の基本的計算テストです。しかし、基本と言っても、中々100点が取れないものです。昨年度、吾田中では全校で51人が100点を取りました。僕はよく子ども達に言うのですが、数学は“分かっているも間違っ教科”です。符号を間違えたり、計算ミスがあったりと、ケアレスミスが必ずと言っていいほど出てしまいます。なので、いかに“ミスしないか”が大事になってきます。

ということは、丁寧に計算をすること、見直しをすることが大事です。“丁寧に”要素には、字を綺麗に書く、計算過程をしっかりと書く、と言った普段のきめ細やかさが重要だと思えます。“見直しをする”為には、その時間を確保するためにスピードをつける為の努力を普段からしてなくてはなりません。

そうなんです。ここでも毎日の“本気”の積み重ねが大事になってくるのです！そんな計算力コンテストなのですが、今年は51人を超えようねと全校に話しをして臨みました。その結果は…78人でした！みんなよく頑張りました！もちろん100点が全てではありません。普段計算が苦手でも、その“本気”によって、いつも以上の結果を残した生徒もたくさんいます。そういった“本気”をこれからも続けていってほしいと思います。そして、気づいていますか？“本気”の後の清々しい気持ちに。君たちの“本気”は素晴らしい、美しい！3学期も伸びゆく君たちの姿を楽しみにしています！